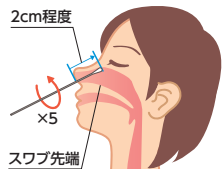


## 検体採取方法

### 鼻腔ぬぐい液の採取



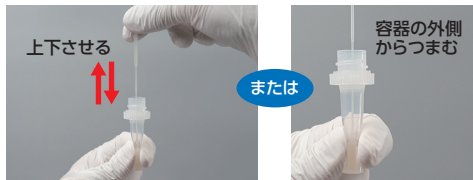
キット付属の滅菌綿棒を鼻腔部分（鼻腔から2cm程度の部分）に挿入し、挿入後、滅菌綿棒を5回程度回転させた後、5秒程度静置して採取する。

### （使用上の注意）

- 判定時間15分を過ぎたテストプレートについては乾燥などにより結果が変化する場合があるので判定に使用しないでください。なお、免疫クロマトグラフィーの特性により、判定時間の15分を超えても検出限界付近の抗原が含まれる試料や試料の性状等によってラインが出現する場合があります。
- 本品を冷蔵保存していた場合は冷蔵庫から出して30分以上放置し、室内温度に戻してからご使用ください。
- 検体抽出液には、防腐剤としてアジ化ナトリウムが0.09%含まれています。廃棄する際には、火気に注意し、酸や重金属に触れないように取扱いに注意して、大量の水と共に流してください。
- 本品は判定が陰性であっても、SARS-CoV2感染又はインフルエンザウイルス感染を否定するものではありません。

## 操作方法

### 1 検体を抽出する



滅菌綿棒を検体抽出液に浸す。検体抽出容器の外側から滅菌綿棒を指でつまんだり上下させて充分浸透させる。その後、しごく様に滅菌綿棒を引き抜く。

### 2 ノズルを挿入する

抽出容器にノズルを挿入する。



### 3 滴下する

抽出容器は垂直を保持し、3滴を守ってご使用ください

テストプレートの試料滴下部に3滴滴下する。



15分後に結果判定

## 判定方法

確認部 [C] C: コントロールライン

判定部 [S,B,A] S: SARS-CoV-2

B: B型インフルエンザウイルス

A: A型インフルエンザウイルス

### 陽性



**A型インフルエンザウイルス抗原陽性**  
判定部 [A] の部分に赤紫色のラインが認められ、かつ確認部 [C] の部分にラインが認められた場合は陽性としてします。



**B型インフルエンザウイルス抗原陽性**  
判定部 [B] の部分に赤紫色のラインが認められ、かつ確認部 [C] の部分にラインが認められた場合は陽性としてします。



**SARS-CoV-2抗原陽性**  
判定部 [S] の部分に赤紫色のラインが認められ、かつ確認部 [C] の部分にラインが認められた場合は陽性としてします。

判定時間（15分）内であっても、3分以降に判定部 [S,B,A] 及び確認部 [C] において赤紫色のラインが認められた場合は陽性と判断することができます。

### 陰性



判定部 [S,B,A] の部分に赤紫色のラインが認められず、確認部 [C] の部分にラインが認められた場合は陰性としてします。

### 無効



確認部 [C] に赤紫色のラインが認められない場合は無効とし、別のテストプレートでやり直してください。



確認部 [C] に赤紫色のラインが認められない場合は無効とし、別のテストプレートでやり直してください。

体外診断用医薬品

# SARSコロナウイルス抗原キット・インフルエンザウイルスキット チェックMR-COV19<sup>®</sup>+Flu

## 形状・構造(キットの構成)

### 1. テストプレート：( ) 枚

(1テストプレート中)

- ・抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体(マウス)
- ・抗A型インフルエンザウイルスモノクローナル抗体(マウス)
- ・抗B型インフルエンザウイルスモノクローナル抗体(マウス)
- ・金コロイド標識抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体(マウス)
- ・金コロイド標識抗A型インフルエンザウイルスモノクローナル抗体(マウス)
- ・金コロイド標識抗B型インフルエンザウイルスモノクローナル抗体(マウス)

### 2. 検体抽出液(アジ化ナトリウム0.09%含有)：( ) 本

### 3. 付属品

- ・滅菌綿棒：( ) 本
- ・ノズル(フィルター付き)：( ) 個

## 貯蔵方法

2～30℃

## 包装単位

( ) 検体用



箱・キットは10キット入り製品のイメージ画像です。

製造番号

使用期限

年

月